（その１）

大分県選挙管理委員会
30.2.14
政治資金規正法

収支報告書

平成　29 年分
（平成　年　月　日開催分）

（ふりがな）
１ 政治団体の名称
立憲民主党大分県第3区総支部（りっけんみんしゅとうおおいたけんだいさんくそうしぶ）

２ 主たる事務所の所在地
大分県別府市東荘園町6丁目1組

３ 代表者の氏名
武藤　勝彦

４ 会計責任者の氏名
増原　寛

事務担当者の氏名
藤田　久美子
電話 0977-26-2777

電話

政治団体の区分	
☐ 政党	☐ 政治資金規正法第１８条の２第１項の規定による政治団体
☑ 政党の支部	☐ その他の政治団体
☐ 政治資金団体	☐ その他の政治団体の支部

活動区域の区分	
☐ ２以上の都道府県の区域等	☑ 同一の都道府県の区域内

資金管理団体の指定の有無
☐ 有
☑ 無
公職の種類
資金管理団体の届出をした者の氏名

国会議員関係政治団体の区分
☑ 政治資金規正法第19条の7第1項第1号に係る国会議員関係政治団体
☐ 政治資金規正法第19条の7第1項第2号に係る国会議員関係政治団体
公職の候補者の氏名　武藤　勝彦
公職の種類　衆議院議員

資金管理団体の指定の期間
平成　年　月　日から
平成　年　月　日まで

国会議員関係政治団体に関する特例の適用期間
平成29年11月11日から
平成29年12月31日まで

（その２）

収　支　の　状　況

１　収支の総括表

	十億	百万	千	
収　入　総　額				0
（前年からの繰越額）				0
（本年の収入額）				0
支　出　総　額				0
翌年への繰越額				0

（注）・「（前年からの繰越額）」は前年の報告書を確認のうえ記載してください。

２　収入項目別金額の内訳

(1) 個人の負担する党費又は会費	十億	百万	千	
金　　額				0
員　　数				0

（注）・「員数」は党費又は会費を納入した実人員を記載してください。

(2) 寄　附													
ア　寄附(イを除く。)の区分	金　　額												備　　考
			十億			百万			千				
(ｱ) 個人からの寄附												0	
（うち特定寄附）												0	
(ｲ) 法人その他の団体からの寄附												0	
(ｳ) 政治団体からの寄附												0	
小　計　(ｱ) ＋ (ｲ) ＋ (ｳ)												0	
(寄附のうち寄附のあっせんによるもの)												0	
イ　政党匿名寄附												0	
合　計　（ア ＋ イ）												0	

（注）・「（うち特定寄附）」は「個人からの寄附」の内書を記載してください。
・「（寄附のうち寄附のあっせんによるもの）」は「小計」の内書を記載してください。

(その13)

3　支出項目別金額の内訳

(1) 支出の総括表

項目	金額	備考
1 経常経費	十億 百万 千 0	
(1) 人件費	0	
(2) 光熱水費	0	
(3) 備品・消耗品費	0	
(4) 事務所費	0	
小計	0	
2 政治活動費	0	
(1) 組織活動費	0	
(2) 選挙関係費	0	
(3) 機関紙誌の発行その他の事業費	0	
ア 機関紙誌の発行事業費	0	
イ 宣伝事業費	0	
ウ 政治資金パーティー開催事業費	0	
エ その他の事業費	0	
(4) 調査研究費	0	
(5) 寄附・交付金	0	
(6) その他の経費	0	
小計	0	
合計	**0**	

(注) ・当該政治団体の本部又は支部に対して供与した交付金に係る支出については、項目ごとに金額を「備考」欄に記載してください。

(その17)

資　産　等　の　状　況

1　資産等の総括表

資産等の有無			
資産等の項目別区分	有	無	備考
ア　土地	□	☑	
イ　建物	□	☑	
ウ　建物の所有を目的とする地上権又は土地の賃借権	□	☑	
エ　取得の価額が100万円を超える動産	□	☑	
オ　預金(普通預金及び当座預金を除く。)若しくは貯金(普通貯金を除く。)又は郵便貯金(通常郵便貯金を除く。)	□	☑	
カ　金銭信託	□	☑	
キ　有価証券	□	☑	
ク　出資による権利	□	☑	
ケ　貸付先ごとの残高が100万円を超える貸付金	□	☑	
コ　支払われた金額が100万円を超える敷金	□	☑	
サ　取得の価額が100万円を超える施設の利用に関する権利	□	☑	
シ　借入先ごとの残高が100万円を超える借入金	□	☑	

（その20）

宣　　誓　　書

添付書類（別添のとおり）

1　領収書等の写し

2　監査意見書（政党本部及び政治資金団体に限る。）

③　政治資金監査報告書（国会議員関係政治団体に限る。）

この報告書は、政治資金規正法に従って作成したものであって、真実に相違ありません。

平成　30年 ∝ 月 13 日

政治団体の名称　立憲民主党大分県第3区総支部

会計責任者の氏名　増原 寛　印

（　　）

（備考）「会計責任者の氏名」欄は、記名押印又は署名とし、署名は必ず会計責任者本人が自署してください。

（注）・解散する場合は（　　）内に代表者の記名押印又は署名が必要です。

・政治資金監査報告書（国会議員関係政治団体に限る。）は平成２１年分以後の収支報告書について適用されます。

大分県選挙管理委員会
30.2.14
政治資金規正法

政治資金監査報告書

平成30年2月13日

立憲民主党大分県第3区総支部
代表　武藤　勝彦　殿

登録政治資金監査人　赤川治之
登録番号　第2127号
研修修了年月日　平成21年2月6日

1　監査の概要

(1) 私は、政治資金規正法（以下「法」という。）第19条の13第1項の規定に基づき、立憲民主党大分県第3区総支部の平成29年に係る法第12条第1項に規定する収支報告書のすべての期間を対象として、当該収支報告書並びに当該収支報告書に係る会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徴し難かった支出の明細書、振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書（支出の目的が記載された振込明細書の写しを含む。以下同じ。）について、支出に関する政治資金監査を行った。

(2) この政治資金監査は、法第19条の13第2項に定めるところにより政治資金適正化委員会が定める「政治資金に関する具体的な指針」（以下「政治資金監査マニュアル」という。）に基づき行った。

(3) 私の責任は、外部性を有する第三者として、国会議員関係政治団体の会計責任者の作成又は徴取した収支報告書並びに当該収支報告書に係る会計帳簿、明細書、領収書等、領収書等を徴し難かった支出の明細書、振込明細書及び振込明細書に係る支出目的書について、政治資金監査マニュアルに基づき政治資金監査を行った結果を報告することにある。

(4) この政治資金監査は、立憲民主党大分県第3区総支部の主たる事務所において行った。

2　監査の結果

私が実施した政治資金監査の結果は、以下のとおりである。

(1) 法第19条の13第2項第1号に規定する事項について、会計帳簿が保存されていた。なお、政治資金監査の対象期間においては、立憲民主党大分県第3区総支部に係る支出はなく、明細書、領収書等、領収書等を徴し難かった支出の明細書、振込明細書及び振込明細書

に係る支出目的書は存在しなかった。

(2) 法第19条の13第2項第2号に規定する事項について、会計帳簿には、当該国会議員関係政治団体に係るその年における支出の状況が記載され、かつ、当該国会議員関係政治団体の会計責任者が当該会計帳簿を備えていた。

(3) 法第19条の13第2項第3号に規定する事項について、法第12条第1項に規定する収支報告書は、会計帳簿に基づいて、支出が計上されていない状況が表示されていた。

(4) 法第19条の13第2項第4号に規定する事項について、領収書等を徴し難かった支出の明細書及び振込明細書に係る支出目的書は、存在しなかった。

3　業務制限

立憲民主党大分県第3区総支部と私との間には、法第19条の13第5項の規定に違反する事実はない。

また、立憲民主党大分県第3区総支部と政治資金監査の業務を補助した使用人その他の従業者との間においても、同様である。

以　上